

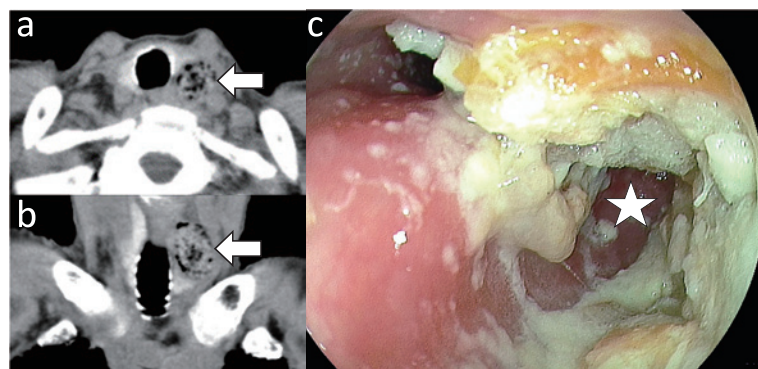
咽頭食道憩室の1例

長田 剛¹ 大段 仁奈² 野上 晃司³ 森 由弘⁴

Fig. 1 超音波検査. 頸部横断面. 甲状腺左葉 (白抜矢印) 背側の咽頭食道 (矢印) から左外側へ突出する憩室 (矢頭) を認める. 憩室の辺縁は低エコーを呈し (白抜矢頭), 内部は不均質である



Fig. 2 a 単純 CT 検査. 横断面. **b** 単純 CT 検査. 冠状断面. 頸部食道の左前側方に憩室 (矢印) を認める. **c** 内視鏡検査. 食道入口部に憩室 (星印) を認め, 憩室内には食物残渣がみられる



食道憩室は, 食道壁の一部が圧出あるいは牽引により嚢状に外側に突出した状態であり¹⁾, 食道憩室のうち 10% 程度が咽頭食道憩室とされている²⁾.

【症例】80 歳代, 女性. 胸部単純 CT 検査において甲状腺左葉に結節性病変が疑われたため, 質的評価を目的として超音波検査を施行した. 超音波検査では 20 × 10 mm 大の境界明瞭平滑な腫瘤像として描出され, 腫瘤内部は低～高エコーを呈した. 腫瘤と咽頭食道には連続性がみられ, 咽頭食道から腫瘤へと移動するガス像を認めたことから食道憩室を疑った (Fig. 1). 胸部単純 CT 検査では甲状腺左葉下極

の近傍, 咽頭食道の左前側方に存在する軟部影を認めた (Fig. 2 a,b). 上部消化管内視鏡検査において食道入口部に憩室を認め, 憩室内には食物残渣がみられた (Fig. 2 c). 以上の検査所見より咽頭食道憩室と診断され, 自覚症状もないことから経過観察となった.

【まとめ】咽頭食道憩室は嚥下障害などをきたすことがあるものの, 本症例では無症状で偶然に発見された. 咽頭食道憩室には甲状腺結節との鑑別が困難な症例も少なからず存在する. したがって, 存在診断や質的診断を慎重に行うことが重要であり, 咽頭

A case of pharyngoesophageal diverticulum

Keywords: esophageal diverticulum, ultrasonography

¹国家公務員共済組合連合会高松病院検査科, ²同内科, ³同消化器内科, ⁴同呼吸器内科

Tsuyoshi NAGATA, RMS¹, Nina ODAN², Koji NOGAMI³, Yoshihiro MORI⁴

¹Department of Clinical Laboratory, ²Department of Internal Medicine, ³Department of Gastroenterology, ⁴Department of Respiratory Medicine, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Takamatsu Hospital, 14-8 Tenjinmae, Takamatsu, Kagawa 760-0018, Japan

Received on August 18, 2017; Revision accepted on September 15, 2017 J-STAGE. Advanced published. date: October 27, 2017